

平昌冬季五輪の詳細はあすの日刊スポーツで大展開



平昌冬季五輪 スピードスケート

◇18日◇女子500メートル
日本のエース小平奈緒(31||相沢病院)が36秒94の五輪新記録で金メダルを獲得した。
スピードスケートの日本勢では98年長野五輪男子500メートルの清水宏保以来、女子では初の金メダル獲得となった。
小平は全16組中14組のインスタートで、エルバノバ(チェコ)と同走。一昨季から連勝中で迎えた大舞台で、五輪2連覇中の李相花(28||韓国)を抑え、世界最強の

スピードスケートであることを証明した。今大会は1000分の銀に続く2個目のメダルとなった。李は秒で銀メダル。郷亜里砂(30||イヨテツク)は37秒67で8位、神谷衣理那(26||高堂建設)は38秒255で13位だった。
レース後、小平は「周りが何も見えないくらいすごいうれしかったです。(金メダルを)考えないようにしたこともあったんですが、すべて報われたような気持ちです。最初から集中して自分の持ち味を出し切れたレースだったかなと思う。躍動感あふれるレースができたかなと思います」と話し

「躍動感ある走り」で最強証明



500メートル圧勝

スピードスケート女子初

小平

全て報われた

女子500メートルで金メダルに輝いた小平は、日の丸を背負い、帽子をかぶって笑顔でポーズをとる(撮影・PNP) ②女子500メートルの滑走を終え、両手を広げる小平(共同) ③金メダルを手笑顔の小平(撮影・山崎安昭)